



Photostud

THE IRELAND TROPHY

第1回 アイルランドトロフィー (GII)

1着 2着 3着 4着 5着
本賞 55,000,000円 22,000,000円 14,000,000円 8,300,000円 5,500,000円
付加賞 1,134,000円 324,000円 162,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

牝、3歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳53^{kg}・4歳以上55^{kg}、2024.10.5以降G I競走1着馬2^{kg}増、G II競走1着馬1^{kg}増、2024.10.4以前のG I競走1着馬1^{kg}増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.10.12 東京 曇・良 芝1800m (国際)(指定)

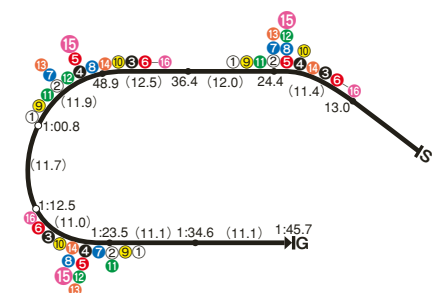
順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑮	ラヴァンタ	牝4	55	岩田望来	1:45.7	7-8-10	32.4	488(-4)	7.0④	中村直也(栗東)	109
2	②	アンゴラブラック	牝4	55	戸崎圭太	1/2	4-4-3	33.0	470(+10)	13.2⑥	尾関知人(美浦)	108
3	⑦	カナテブ	牝6	55	佐々木太輔	クビ	4-4-5	32.9	468(-14)	7.2⑤	堀 宣行(美浦)	108
4	⑩	ライラック	牝6	55	石川裕紀人	ハナ	11-13-13	32.3	458(+4)	19.1⑧	相沢 郁(美浦)	108
5	⑥	セフィロ	牝5	55	横山和生	1/4	15-15-15	32.2	474(+10)	58.2⑩	菊沢隆徳(美浦)	
6	④	ホウオウラスカース	牝7	55	木幡巧也	3/4	13-12-10	32.9	458(+2)	49.7⑦	高木 登(美浦)	
7	①	アドマイヤマツリ	牝4	55	武 豊	ハナ	1-1-1	33.7	470(+16)	4.4②	宮田敬介(美浦)	
8	⑤	リラボニート	牝4	55	横山武史	クビ	7-8-6	33.2	466(-2)	29.3⑨	須貝尚介(栗東)	
9	⑧	ボンドガール	牝4	55	C.ルメール	1/4	7-11-10	33.2	458(+2)	3.9①	手塚貴久(美浦)	
10	⑪	セキトバイースト	牝4	55	浜中 俊	3/4	3-3-3	33.8	478(+20)	5.9③	四位洋文(栗東)	
11	④	フィールシンパシー	牝6	55	横山琉人	アタマ	11-8-6	33.5	464(+8)	115.7⑫	小島茂之(美浦)	
12	⑨	ザフィラ	牝4	56	松山弘平	1	4-4-6	33.8	464(+10)	13.8⑦	池添 学(栗東)	
13	⑫	ドゥアイズ	牝5	55	三浦皇成	クビ	7-7-6	33.7	476(-8)	44.8⑩	庄野靖志(栗東)	
14	⑬	アンリロード	牝5	55	荻野 極	3	16-16-16	33.2	482(±0)	113.2⑬	茶木太樹(栗東)	
15	⑨	ピースオブザライフ	牝5	55	菊沢一樹	2 1/2	2-2-2	35.0	492(+4)	207.1⑭	野中賢二(栗東)	
16	③	キャットファイト	牝4	55	大野拓弥	5	14-14-14	34.8	480(+22)	74.9⑪	上原博之(美浦)	

単勝⑦700円(4^{kg}) 複勝⑨230円(3^{kg}) ②400円(6^{kg}) ⑦280円(5^{kg}) 枠連①-⑧1,370円(6^{kg})

馬連②-⑤4,690円(18^{kg}) ワイド②-⑤1,440円(16^{kg}) ⑦-⑩880円(10^{kg}) ②-⑦1,570円(19^{kg})

馬単⑨-②9,230円(38^{kg}) 3連複②-⑦⑨9,100円(32^{kg}) 3連単⑨-②⑦68,610円(229^{kg})

5重勝⑦④⑩⑧⑤2,653,610円(194票) 対象競走：東京9R/京都10R/東京10R/京都11R/東京11R



通過タイム： 600m 800m 1000m 上り： 800m 600m
36.4 - 48.9 - 1:00.8 44.9 - 33.2

アラカルト

- ・岩田望来騎手はJRA重賞本年5勝目、通算17勝目
- ・中村直也調教師はJRA重賞本年初勝利、通算4勝目
- ・シルバーステート産駒はJRA重賞通算7勝目
- ・ラヴァンタはエリザベス女王杯(G I)に優先出走できる

ラヴァンダ Lavanda

牝 黒鹿毛 2021.3.10生
北海道新冠町 森永聡氏生産
馬主・森永聡氏 栗東・中村直也厩舎
馬名意味・ラベンダー(伊)

ファーガーズプロスペクトUSA系 F3-D

シルバーステート 青鹿毛 2013	ディーブインバウト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	シルヴァースカヤUSA 黒鹿毛 2001	Silver Hawk Boubskaia
ゴッドバイレーツ 鹿毛 2014	ペーカバドFR 鹿毛 2007	Cape Cross Behkara
	ゴッドインチーフ 芦毛 1996	コマンダーインチーフGB
		ファーガーズプロスペクトUSA

5代までのインブリード：Roberto S4×M5 Hail to Reason S5×S5
Lyphard S5×M5 Danzig M5×M5

INTERVIEW

森永聡氏(生産者)

とても嬉しいです

重賞制覇が簡単なことではないとよく分かっているのととても嬉しい。初仔なので細くて華奢な馬でしたが順調に育ち、3歳時は牝馬クラシックに出走できるほどの成績。うちぐらいの規模の牧場からこんな馬が出たのは凄いことだと思っていますが、中村調教師や岩田望来騎手はもっと上にいける馬だと評価してくださいました。今後も無事に走ってほしいです。

K.Miura



シルバーステート産駒の本馬は3歳の昨年、フローラSで2着に食い込み、オークスに出走。このときは厚い壁に跳ね返された(1着)ものの、秋華賞では4着と気を吐いた。今年も3勝クラスから格上挑戦した阪神牝馬Sで3着、府中牝馬Sも3着と好走を重ねる半面、自己条件ではなかなか勝ち切れないレースが続いたが、前走の仲秋Sで2歳11月の未勝利戦以来となる2勝目をマーク。弾みをつけて挑んだ重賞も連勝し、着実な地力の強化を印象付けた。

昨年まで「アイルランドトロフィー府中牝馬S」として行われてきた牝馬重賞は、今年からアイルランドトロフィーと府中牝馬Sに分離。マーメイドSの後継として6月へ移設された後者に対し、前者は昨年までの実施条件を引き継ぐ新設重賞と位置付けられた。重賞2着6回の実績を持つ1勝馬ボンドガール、福島牝馬Sの覇者アドマイヤマツリ、府中牝馬Sに続く重賞連勝を狙うセキトバイーストが1、3番人気の支持を集めたレースは、4番人気のラヴァンダが快勝。充実期を迎えた4歳牝馬が重賞初制覇を果たし、初代の優勝馬に名を刻んだ。

最内枠から軽快なダッシュで飛び出し、逃げの手に出たアドマイヤマツリが落ち着いたラップを刻んでレースを先導。セキトバイーストはこれを見ながら3番手の外で流れに乗る。ボンドガールは中国馬群の真っ只中で折り合いに専念。外枠8枠15番からリズムを重視して運び、自然体で徐々にポジションを上げたラヴァンダと岩田望来騎手のコンビは、3コーナーでその外に取り付いた。

素手手応えで直線に向けたアドマイヤマツリは坂下から後続を突き放しにかかったものの、残り200m地点を過ぎて失速。好位で脚を溜めていたアングラブラックとカナテブ、外から伸びてきたラヴァンダがそこへ襲い掛かる。後方から追い込んだライラックも3頭に迫ってきたが、ラヴァンダは一枚上の決め手を発揮。横一線の争いから抜け出して勝負を決めた。

父シルバーステート

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央5戦4勝(垂水S、オーストラリアトロフィー、紫菊賞)、18年から供用

〔代表産駒〕**エエヤン**(ニュージーランドトロフィー^{GⅡ})、**ラヴァンダ**(本馬)、**セイウンハーデス**(エプソムC^{GⅢ}、七夕賞^{GⅢ})、**ウォーターナビレラ**(ファンタジーS^{GⅢ}、桜花賞^{GⅠ}2着、阪神ジュベナイルフィリーズ^{GⅠ}3着)、**ランスオブカオス**(チャールズダウンズC^{GⅢ}、朝日杯フューチュリティS^{GⅠ}3着)、**リカンカプール**(中山金杯^{GⅢ})、**ショウナンパシット**(札幌日経オープン・L、若葉S・L)、**バトルボーン**(メトロポリタンS・L)、**セッション**(京都金杯^{GⅢ}2着、アーリントンC^{GⅢ}2着)、**コムストックロード**(葵S^{GⅢ}2着)、**カルロヴェローチェ**(ファルコンS^{GⅢ}2着)、**メタルスピード**(スプリングS^{GⅢ}3着)、**シルヴァーデューク**(サウジアラビアロイヤルC^{GⅢ}3着)

母ゴッドバイレーツ

北海道新冠町 森永聡氏生産 中央6戦0勝、地方30戦7勝

ラヴァンダ 本馬(21 牝父シルバーステート)中央16戦3勝(アイルランドトロフィー^{GⅡ}、仲秋S、フローラS^{GⅡ}2着、阪神牝馬S^{GⅢ}3着、府中牝馬S^{GⅢ}3着) 獲得総賞金164,490,000円

ディルブランド(22 牡父ヘニーヒューズUSA)中央1戦0勝、地方8戦1勝(23 牡父レイデオロ)

トラベルメモリーズ(24 牡父ヘニーヒューズUSA)

(25 牡父シルバーステート)

祖母ゴッドインチーフ

北海道新冠町 森永正志氏生産 中央3勝(エルフィンS^{GⅡ}、ききょうS^{GⅡ}、チュリッパ賞^{GⅡ}2着、ファンタジーS^{GⅢ}2着、阪神3歳牝馬S^{GⅠ}3着、桜花賞^{GⅠ}4着)、14年用途変更

ゴッドスマイルユー(03 牡父エルコンドルパサーUSA)中央3勝(伊吹山特別)

ゴッドビラッドミー(04 牝父ブライアンズタイムUSA)中央0勝、地方7勝、

ミューチアリー(JBCクラシック^{JⅡ}、白山大賞典^{JⅢ}2着、ジャパングレートダービー^{JⅡ}3着、NAR年度代表馬)の母

オメガカリビアン(05 牝父フレンチデビューティUSA)不出走、**オヤコダカ**(兵庫ジュニアグランプリ^{JⅡ}2着)の母

ゴッドバイレーツ(14 前出)

曾祖母ファーガーズプロスペクトUSA

北米1勝。95年輸入、09年死亡、**ヌーヴォレコルト**(オークス^{GⅠ})の祖母、**イングランドアイズGB** 〆(小倉記念^{GⅢ})、**セナスタイル** 〆(ローズS^{GⅢ}3着)の曾祖母

充実期を迎えた4歳牝馬が重賞初制覇